

マルセル・デュシャン生誕 130 年記念「瀧口修造・岡崎和郎二人展」開催について

osakayoto では、来る 2017 年がマルセル・デュシャン生誕 130 年に当たるのを記念し、1 月 7 日（土）から 2 月 12 日（日）まで「瀧口修造・岡崎和郎二人展」を開催いたします。

マルセル・デュシャン（1887-1968）は、改めて申し上げるまでもなく現代美術の開拓者であり、20 世紀の最も重要なアーティストの一人にも挙げられますが、こうした評価が確立する前の 1930 年代から、瀧口修造（1903-79）はデュシャンに深い関心を寄せ、たびたび論じてきました。58 年の訪欧中に本人と出会ってからは文通や著書の献呈などの交流が続き、63 年頃に構想した架空の「オブジェの店」に対して、デュシャンから若き日の女性変名「ローズ・セラヴィ」を贈られています。命名への礼状に同封して、瀧口は自作のロトデッサン（モーターによる回転線描）を一点贈ったほか、返礼として『マルセル・デュシャン語録』（1968 年）を刊行しました。さらに代表作「彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁、さえも」の「眼科医の証人」の部分立体化したマルチプル「検眼圖」（1977 年）も製作しています。デュシャンとその作品の研究・考証は、後半生の瀧口にとって最も重要な課題の一つとなっていたといっても、けっして過言ではないでしょう。

岡崎和郎（1930-）もデュシャンに触発されている美術家の一人です。1950 年代から一貫してオブジェに取り組み、86 歳を超えた現在も、「御物補遺」”Who’s Who””HISASHI”の各シリーズなどを精力的に制作している岡崎は、レディメイドのオブジェの創始者デュシャンに関連する作品も、「ハート」（1962 年）や「窓」（1965 年）をはじめ、数多く制作してきました。50 年代から岡崎の仕事を評価していた瀧口が、前出『マルセル・デュシャン語録』の製作協力者の一人に岡崎を加え、前出「検眼圖」の実際の製作を岡崎に委ねたのも当然と思われる。学生時代から瀧口の『近代藝術』を熟読していた岡崎は、「瀧口修造— Arrow Finger」（1968 年）など、瀧口に因む作品も制作しています。一方、瀧口も 66 年にデカルコマニー作品を岡崎に贈呈し、『岡崎和郎の作品 1962—1976』（1977 年）にも序詩「彼の微笑、それから」を寄せています。二人の絆は、デュシャンに対する関心や敬意を共有することを通じ、いっそう強固なものとなっていたのは間違いないでしょう。

本展は『マルセル・デュシャン語録』「検眼圖」をはじめ、瀧口、岡崎のデュシャンに関連する作品など約 40 点を展示し、生誕 130 年の幕開けを慶賀するとともに、改めてデュシャンに対する二人の傾倒ぶりや、二人の絆の深さを辿ろうとするものです。なお、展示作品はいずれも土渕信彦氏のコレクションであり、本展は 2009 年から継続されてきた「瀧口修造の光跡」展の第 5 回に当たるものであることを申し添えます。末筆ながら、開催にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

ART OFFICE OZASA INC.

207 Nishijin Textile Center West Bldg., horikawa-imadegawa, kamigyo-ku, kyoto 6028216 Japan

www.artozasa.com / mail@artozasa.com / 075-417-4041

マルセル・デュシャン生誕 130 年記念「瀧口修造・岡崎和郎二人展」開催について

開催概要

会 場 ozasakyoto 京都市上京区堅門前町 414 西陣産業会館 207

会 期 2017 年 1 月 7 日（土）～ 2 月 12 日（日）

開廊日時 水曜 - 日曜 12 : 00 ～ 19 : 00

休 廊 日 月曜・火曜（1 月 9 日祝日は開廊）

主な展示作品（予定）

1. 瀧口修造 『マルセル・デュシャン語録』 A 版（著者本 10 部の第 6 番）、1968 年
2. 瀧口修造・岡崎和郎 「検眼圖」、1977 年
3. 瀧口修造 ドローイング「ローズ・セラヴィのために」、インク・水彩、1968 年
4. 瀧口修造 デカルコマニー「岡崎和郎のために」、グアッシュ、1966 年
5. 瀧口修造 ロトデッサン ” cercle vicieux ”、鉛筆・紙、1971 年
6. 岡崎和郎 ” Giveaway Pack 2 ”、ミクストメディア、1968/1977 年
7. 岡崎和郎 「瀧口修造—Arrow Finger」、ブロンズ・焼き付け塗装、1968/1998 年
8. 岡崎和郎 ” Snap Shot of Mr. Shuzo Takiguchi ‘Arrow Finger’ ”、ステンボード・紙、1969/1996 年
9. 岡崎和郎 「ウィリアム・テルのリンゴ」、樹脂・彩色、2008 年
10. 岡崎和郎 ” HISASHI ”、ブロンズ、1985 年 ほか

関連イベント

1. 1 月 14 日（土）15 : 00 ～ 16 : 30
岡崎和郎・平芳幸浩対談「オブジェをめぐる」
2. 1 月 28 日（土）15 : 00 ～ 16 : 30
瀧口修造講演「美というもの」（1962 年の富山高校における講演録音再生）土渕信彦解説
3. 2 月 4 日（土）15 : 00 ～ 16 : 30
土渕信彦ギャラリー・トーク「瀧口修造とマルセル・デュシャン」

協力

土渕信彦、横田茂ギャラリー、ときの忘れもの

問い合わせ

株式会社 ART OFFICE OZASA 〒602-8216 京都市上京区堅門前町 414 西陣産業会館 207
075-417-4041 www.artozasa.com mail@artozasa.com

ART OFFICE OZASA INC.

207 Nishijin Textile Center West Bldg., horikawa-imadegawa, kamigyo-ku, kyoto 6028216 Japan

www.artozasa.com / mail@artozasa.com / 075-417-4041

マルセル・デュシャン生誕 130 年記念「瀧口修造・岡崎和郎二人展」開催について



© Shuzo Takiguchi

瀧口修造

「III-04」

デカルコマニー、紙

13.8 × 9.4 cm



© Kazuo Okazaki / Courtesy of Shigeru Yokota Gallery

岡崎和郎

「Shuzo Takiguchi-Arrow Finger」

1968-1998 年

ブロンズ・焼き付け塗装

7.5 × 2.9 × 2.2 cm



© Shuzo Takiguchi / Kazuo Okazaki

瀧口修造／岡崎和郎

「検眼圖」

1977 年

アクリル板にシルクスクリーン・レンズ・アルミニウム

26 × 26 × 26 cm

※ 画像の掲載利用につきましては、下記の連絡先までお問い合わせください。

株式会社 ART OFFICE OZASA

TEL: 075-417-4041 / MAIL: info@ozasahayashi.com